

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.2



【発行】
川崎市老人福祉施設事業協会
〒213-0001
川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき内
TEL : 044-812-1231 / FAX : 044-812-2077
http://www.kawasaki-roushikyo.org/

川崎市老人福祉施設 事業協会に期待すること



社会福祉法人
川崎市社会福祉協議会
会長 齊藤 二郎

川崎市老人福祉施設事業協会におかれましては、老人福祉施設協議会をはじめ、本会の事業推進に対しまして、格別のご協力をいただきありがとうございますことを、深く感謝を申し上げます。

貴協会は、長年にわたり、会員施設の交流、職員の研修などを通じて、高齢者福祉の向上に取り組んでこられました。歴代の会長をはじめとする役員の皆様、そして会員の皆様方の熱意とご尽力に深く敬意を表する次第でございます。

近年、高齢者施設をとりまく環境は、不安定な状態が続いております。こうした中、貴協会が、川崎市の高齢者福祉施設の拠点として機能していることの重要

性は、益々増しているのではないのでしょうか。今後も、施設利用者への質の高い、安定したサービスの提供を第一の目的として、会員間の連携と地域との関わりをより一層強化し、各会員施設が地域においてその役割を果たしていくことを期待する次第です。

本会といたしましても、地域福祉推進を担う団体として、地域における福祉ニーズに応える事業の展開を図ってまいります。

末筆となりますが、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。お祝いのメッセージとさせていただきます。



会報誌「らくふく瓦版」 の創刊にあたって



健康福祉局
局長 菊地 義雄

健康福祉局局長 菊地 義雄
健康福祉局局長 菊地 義雄

川崎市老人福祉施設事業協会会員の皆様におかれましては、日ごろから、本市の高齢者福祉の発展のために御尽力いただき、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

さて、本市における高齢化率は、平成22年4月現在では、全国の高齢化率23%に対して、人口の急増等の影響もあり、16・5%と比較的若い都市といえますが、今後は、急速に高齢化が進展することが予想されております。

そのような中、平成21年度から平成23年度までを計画期間とする「第4期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心してくらするまちづくり、介護が必要となっても「かわさき」で暮らし続

急速に進展する超高齢社会を支えるためにも、共に支えあう地域福祉社会を実現し、市民のみなさまが安心して生活できるよう、これからも全力で取り組んでまいりたいと存じますが、これらの実現にあたりましては、会員の皆様のお力添えや、各施設で日頃頑張っておられる職員の皆様の協力が不可欠でございます。

今後ともより一層の御支援をいただきますようお願い申し上げます。皆様方の御健勝を祈念いたしまして挨拶の言葉とさせていただきます。



福祉施設のご紹介

社会福祉法人 くぬぎざが福祉会
特別養護老人ホーム みかど荘

〒216-0001 宮前区野川1, 413番地
TEL:044-766-0511（代表） / FAX:044-777-1193
URL:<http://www.ab.auone-net.jp/~kunugiza/>



川崎の福祉を見つめて、30年！
川崎で2番目の施設として昭和
56年6月に開設しました。

法人の理念は、『緑風鳥の聲、
共に生きるよろこび』その理念
の通り多摩台地にあり、周りは
雑木林に囲まれ四季折々の風景
が楽しめる施設です。



開設以来、当施設では人間の身勝手
で捨てられた猫を愛護し、また利用者
の和みにも一役果たしております。

私たちは、今の日本を築き上げて頂
いた利用者様が、このみかど荘でゆっ
くり、そして楽しんで生活を送って頂
けるよう介護に当たっております。



みかど荘は、新しい施設の設備
や機能より劣るかもしれませんが。
でもそこは、職員の笑顔や献身的
な介護、チームワークでカバー出
来ると信じております。

介護は、人が人を介護する仕事。
利用者様からの笑顔・感謝が、我
々にとって何よりの喜びです。

これからもみかど荘は、川崎の
福祉を見つめ続け介護サービス向
上に日々研鑽してまいります。

福祉施設のご紹介

社会福祉法人セイワ
軽費老人ホーム 福寿荘

〒210-0024 川崎市川崎区日進町5-1
TEL:044-211-3181（内405） / FAX:044-246-5991
URL:http://www.fukushi-seiwa.jp/



また、クラブ活動も盛んで書道・絵手紙・手工芸・ダンスなど大活躍をされていました。

当初の福寿荘は「健寿会」という自主組織が作られ、催し物の開催・施設運営など積極的に参加されていました。

福寿荘は子供から障がい者・老人までの幅広い人々の地域福祉活動拠点として造られた「川崎市福祉センター」内に昭和49年7月に開設されました。

子供たちに負けないくらい大変若々しく、元気に毎日の生活を送っています。

また、年に2回近隣の幼稚園の皆さんが来荘され、一緒に歌ったり、お話をしたり・・・

川崎駅から歩いて15分という便利で賑やかな所にあり、入居されている方は川崎駅周辺で催されるイベントを見学に行かれます。



体操の効果テキメン
軽い足取りで歩く
皆さんでした。

県警の婦警さんとさゆりさんから転ばない歩き方を教えて頂きました。



バンドを引っ張りながら・・・
は～いゆつくり体側をのばして～

若さの秘訣は、なんといっても日頃からの健康管理です。健康体操・気功体操の講座を開きジワリ、ジワリと筋力をUPし、しなやかで逞しい体づくりを励んでいます。
職員はなんと翌日筋肉痛！

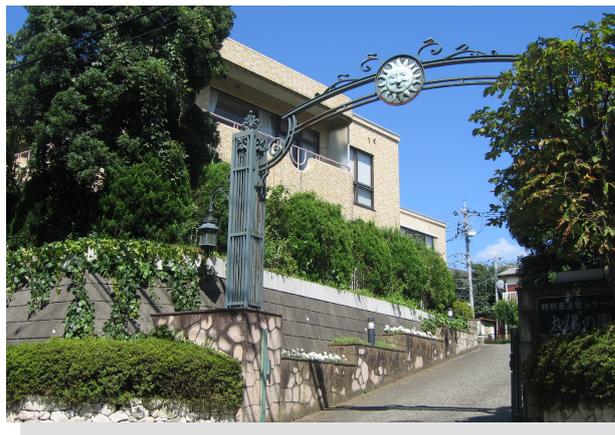
福祉施設のご紹介

**社会福祉法人 照陽会
特別養護老人ホーム 太陽の園**

〒214-0039 多摩区栗谷2-16-6
TEL:044-955-9181 / FAX:044-955-9220
URL:<http://www.taiyonosono.or.jp/>

法人処遇方針である「自立の援助」と「相互援助の助長」や「生涯学習の視点」を大切に、一人ひとりが「遊び」の生活ができる事を目指し取り組んでいます。この

社会福祉法人照陽会太陽の園は、昭和59年に開設され、「介護老人福祉施設」「短期入所生活介護」「居宅介護支援事業所」「地域包括支援センター」の4事業所を運営しております。長い歴史と共に培ったノウハウを大切に、閑静な住宅街の中に溶け込む小学校と保育園に囲まれ、地域の皆様と共に暮らしております。



また、職員のチームワークを育てる事も大切にしてあります。旅行の計画や親睦会の開催など、スタッフの希望や夢を少しでも叶えられるよう様々な

「遊び」とは【遊びの心を育てよう】ということであり、四季折々の行事や日々の触れ合いを通してゆつくり大切に育ててあります。行事はスタッフが企画立案から行い、一つのことにも心が向きあう心を育み、毎回毎回盛大に行われます。もちろんこの行事にご家族の皆様もご参加され、息子さんや娘さん・お孫さんやひ孫さんの晴れ舞台を目を細めて喜びながらみている姿も感動となり、互いに刺激し合いながら心の成長を楽しんであります。

太陽の園は、いつまでも【心を一つ】に、かかわるすべての皆様が【その人らしく過ごせる】ことを大切にしていきます。

取り組みをしております。先日の川崎市ボーリング大会では、優勝目指し200ゲーム以上投げ込んで心を一つに頑張りました。その結果見事優勝することができ、祝勝PARTYのお酒はこの上ない美味しさでした。何気ない事でも共有することにより刺激となり、練習に励んでいるスタッフを利用者の皆様も応援し続け、優勝トロフィーを嬉しそうに眺めにいらつしやる方々で賑わっています。



【夏祭り】

【夕涼み会】



編集後記

川崎市社協会長ならびに健康福祉局長より当協会へ期待する言葉を頂き、また各施設より介護施設イメージアップに繋がる元気な現場のメッセージを頂き感謝申し上げます。今年度の発行は終了しますが、来年度以降も「楽しい福祉」を発信しますので引き続きご愛読いただければ幸いです。